

地域計画

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	-
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	阿南町 204048
地域名 (地域内農業集落名)	和合地域 (和合地区)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	35 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	11 ha
② 田の面積	17 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	18 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	3 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	8 ha
(参考)区域内における-才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)遊休農地面積8ha(うち1号遊休農地8ha、2号遊休農地0ha) ⑤は、和合で引き受ける意向のあるすべての農地面積の合計。	

(2) 地域農業の現状及び課題

当地区は、集団的でまとまりのある農地が少なく、農業で所得を確保するのは難しい地理条件である。また、人口減少と高齢化に伴う農業者の減少も進んでいることから遊休農地の更なる増加が懸念される。
 町内で唯一環境保全型農業で有機農業に取り組む組織を有する地域であり、今後も組織を中心として環境保全型農業を推進していく必要がある。
 持続的に農地の利用を図りながら地域の活性化を進めるためには、小規模に農業経営をしていきたい者や地域おこし協力隊制度を活用して担い手の確保育成を図りつつ、地域全体で農地を利用調整していく仕組みの構築が必要である。

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

地域の伝統野菜である「鈴ヶ沢なす」「鈴ヶ沢うり」「鈴ヶ沢南蛮」を継承していくために、既存農業者で生産を行い、集荷販売を地域おこし協力隊等の担い手に任せるための仕組みづくりと人材の確保育成を図る。
 農地利用効率化のため、担い手への農地の集約化に配慮しつつ、農業を担う者への農地の再分配を進めることができるよう必要な条件整備を実施し、地域と担い手が一体となって農地を利用していく体制の構築を図る。
 基盤整備済の条件が良い農地が耕作され、維持していくために地域内での再分配を優先的に行う。
 有機農業の取組を組織及び地域を中心に主体的に進めてもらうため、必要となる支援を検討する。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
農業を担う者、法人、集団的農業経営体への農地の集積・集約化を基本とする。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	2.3%	%	将来の目標とする集積率
			25 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
農地中間管理機構を通じて引き続き農業を担う者、法人、集団的農業経営体への集積・集約化を進め、団地数の維持または減少、団地面積の拡大を進める。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
農業を担う者、法人、集团的農業経営体を中心に農地集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
対象農地の場所や担い手等の経営意向を勘察し、段階的に集約化を進める。
(3)基盤整備事業への取組
既に基盤整備された農地の利活用を進める。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
関係機関と連携し、地域外から営農を望む経営体を募集し、栽培技術や農業用機械のレンタルなどの支援や生産する農地をあっせんし、相談から定着まで切れ目のない取り組みを展開する。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
作業の効率化が期待できる防除作業は、法人への委託を進める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①イノシシやシカの被害が拡大しないよう防止柵を設置するとともに、目撃情報や被害情報があった場合には速やかに対応できる体制を構築する。併せて地域内外から捕獲人材の確保・育成を進める。

②活動組織による有機農業の取組を継続する。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和16年度)			目標地図 上の表示	備考
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積		
別紙のとおり									
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

和合

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図上 の表示	備考
1 利	(10M)	水稲・野菜	1.3 ha	ha	水稲・野菜	1.3 ha	ha	(10M)	環境保全型
2 利	4P	水稲・野菜	0.9 ha	ha	水稲・野菜	0.9 ha	ha	4P	
3 利	8Z	水稲・野菜	0.6 ha	ha	水稲・野菜	0.6 ha	ha	8Z	
4 利	5B	水稲・野菜	0.2 ha	ha	水稲・野菜	0.2 ha	ha	5B	
5 利	9L	水稲・野菜	0.8 ha	ha	水稲・野菜	0.8 ha	ha	9L	
6 利	5C	水稲・野菜	1.0 ha	ha	水稲・野菜	1.0 ha	ha	5C	
7 利	7C	水稲・野菜	1.0 ha	ha	水稲・野菜	1.0 ha	ha	7C	
8 認農	(10M)	水稲・野菜	0.7 ha	ha	水稲・野菜	0.7 ha	ha	(10M)	環境保全型
9 集	10O	水稲・野菜	2.9 ha	ha	水稲・野菜	2.9 ha	ha	10O	
計	9経営体		9.4 ha	ha		9.4 ha	ha		